

使用にあたってご注意いただきたい点

■本機はスタックスのイヤ・スピーカーSR-3およびSR-1に使用する専用アンプです。ダイナミック型ヘッドフォンやスピーカーには使用できません。

■本機にはイヤ・スピーカー用コンセントが2個ついています。延長コードおよびコンセント・ボックスの併用により、イヤ・スピーカーを4個まで使用できます。

■本機は電源電圧が±5%変動しても正常に動作しますが、できるだけ定格電圧（AC100V、50/60Hz）でお使いください。

■本機は電源を入れた状態でイヤ・スピーカーをはづしても（＝無負荷にしても）差支えありません。

■ご使用の際は本機の上部は5cm以上あけて、通風を良くしてください。

■入力端子や録音端子に接続するシールド線は、容量の少ない良質のものをお使いください。特にムービング・マグネット（MM）型カートリッジの場合は、シールド線の影響により高域特性を悪化させることが多いのでご注意ください。

■異常が生じた場合は、その状態をお書き添えの上、当社へご持参またはお送りください。郵送のときは、本機をひとまずダンボール箱に納めた上、それを一まわり大きいダンボール箱あるいは木箱にパッキングと共に詰め、輸送による破損を防いでください。

■ハム雑音（ブーンという連続音）が出るときは、電源プラグを差し換えてみてください。マグネティック型カートリッジの場合はハムを誘導しやすいので、アンプの置き場所でハムの大きさが変わることがありますのでご注意ください。

設計のポイント

■本機はイヤ・スピーカー専用アンプとして、高性能の回路をもっともコンパクトにまとめたものです。

■回路は《石と球》の特長をたくみに使いわけ、最小の増巾段数により最大の効果を得ています。周波数帯域の両端においてもネガティブ・フィードバックの安定度は非常に高く、各種ひずみの減少とともに、音質はきわめて透明で、イヤ・スピーカーの特長を十分に発揮させるものです。

■使用するイヤ・スピーカーが平坦な周波数特性をもっているのも、本機にはトーン・コントロールをつけてありません。

結 線

電源コードを電灯線（AC100V）につなぐ前に、つぎのとおり結線して下さい。

① まづアンプの背面から……

①入力端子はLが左チャンネル、Rが右チャンネルです。MAG-PU、COND-PU、AUXの3組があり、アンプ前面の入力切換スイッチで切換えます。

●MAG-PUには、ムービング・マグネット（MM）型、インデューズド・マグネット（IM）型、高出力のムービング・コイル（MC）型のように、出力電圧が3～5mV程度のマグネティック型カートリッジの出力を接続します。出力が1mV以下のMC型の場合は、メーカー指定のインプット・トランス又はヘッド・アンプを通して接続してください。

●COND-PUには、スタックスのコンデンサー型ピックアップ用発振検波器POD-10のRIAA出力をつなぎます。

POD-10以外の発振検波器の場合には、その出力をイコライザーEQ-1を通してから接続してください。